



# 六華の心

酒田市立第六中学校  
学校だより 第1号  
校長 齋藤 啓悦  
令和2年4月13日

## 「耐える心」で学校再開準備…



新任式、始業式、そして入学式も終えないままの挨拶となりました。4月1日より校長として赴任しました齋藤啓悦（さいとうけいえつ）と申します。昨年度は酒田市教育委員会、一昨年度は鳥海八幡中学校に勤務しておりました。新入生125名を迎え、全校で351名の生徒、そして44名の教職員で創立36年目の酒田六中の学校生活をスタートするはずでしたが、新型コロナウイルス感染症の県内感染拡大を受け、臨時休校が延長・再延長となっています。今は学校がいつ再開してもいいように、準備をしているところです。まずは赴任の挨拶ということで学校再開を待たずに、学校だよりを発行したところです。以下は、始業式で話す予定だった内容を一部変更したものです。（生徒の皆さんに向けた文章）

今年は例年になく暖冬で桜の開花も早く、周囲の木々も芽吹き、新しい年度のスタートに花を添えています。しかし、生徒の皆さんにとっては、3月からは臨時休校が続き、授業も部活動もなく、様々な活動が制限されて、不完全燃焼のままの毎日を過ごしているに違いありません。また、保護者の皆さんにも様々な形でご負担をいただき、ご心配をおかけしております。

新型コロナウイルス感染症は命にかかわる病気。生徒の皆さん自身はもちろん、皆さんの家族、周りにいる人の命を守るためには、みんなで我慢することが必要です。

六中には創立以来、大切にしている六つの心、「六華の心」があります。今は六華の心でいうと「耐える心」が必要です。みんなつらい思いをしていますが、いつかこれまで通りの生活が戻ってきます。

感染症拡大防止のために、普段の生活でも気をつけること、日常生活での約束が増えますが、みんながその約束を守ることが自分の命、周りの人の命を守り、感染拡大を防ぐことにつながります。

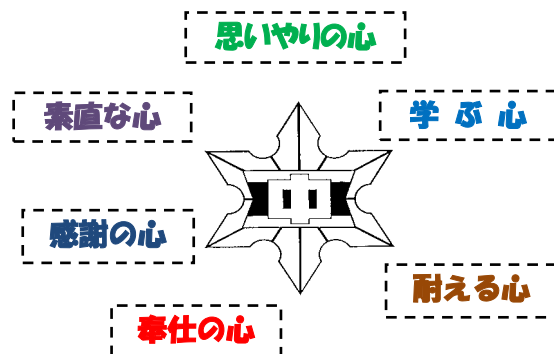
これまでのように当たり前のように生活が送れる日が必ずきます。それまではみんな我慢することが必要です。今は本当につらい時期ですが、中学生として今の自分ができる努力と工夫で一日一日を過ごし、学校再開にそなえてほしいと思います。心配なことがあったらいつでも学校に連絡をしてください。



### 「六華の心」は六中の誇り、地域の誇り

昭和60年開校時に制定された「六華の心」。今年度36年目を迎える六中で、同窓生、在校生、保護者・地域の皆さん、歴代の教職員がその心を共有しながら大切にしてきました。

立派な人間になるための基礎を六中でつくる。そのための努力目標が校章の6つの花卉（心）に表現されています。そんな思いや願いを込めながら今年度も学校だより『六華の心』をお届けしていきます。



◇保護者・地域の皆さんへ … 諸会議や行事等も大幅に変更となり、ご心配ご迷惑をおかけしております。今後、学校だよりでは、学校経営方針、生徒の活躍、学校生活の様子などをお知らせしていきます。

現在の状況では急な連絡もありますので、学校ホームページや「安心安全メール」でご確認をお願いします。また、ご心配な点などございましたら遠慮なく学校にご連絡ください。（六中 ☎ 22-0666）